OTARU UNIVERSITY OF COMMERCE

GAKUEN DAYORI

15 December 2012

No.169

小樽商科大学
学園だより

特集

今こそ知りたい 四学科!!

- 特集 マジプロ
- 国際交流週間を開催しました!
- 第9回 先生のお気に入り ほか

学園だより

題字は　山本眞樹夫 学長

No.169 15 DECEMBER 2012
OTARU UNIVERSITY OF COMMERCE

CONTENTS

ページ

01 特集 今こそ知りたい！四学科！！

08 特集 マジプロ

12 国際交流週間を開催しました!

14 先生のお気に入り！！第9回

16 新任教員紹介
企業法学科　永下　泰之
ビジネス創造センター　北川泰治郎

18 就活アンケート!!第4弾

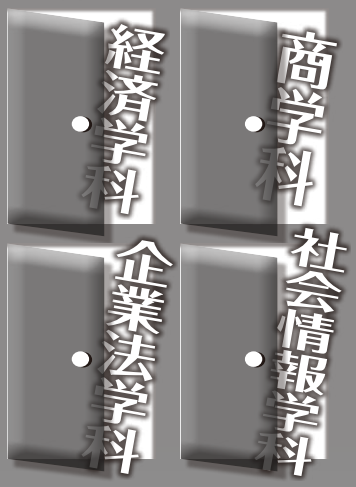
20 ゼミナール紹介

21 部・サークル紹介

24 Topics
課外活動編
キャンパス編

28 EDITOR'S ROOM

今こそ知りたい！四学科！！



一年生の皆さんは，自分の希望する学科は決まったでしょうか。
二年生以上の皆さんは自分の所属学科のことや他学科のことを，
どれくらい知っていますか？
自学科について説明してくださいと言われたら，説明できますか？
編集部では四学科について変遷やいろいろな数字データを調べ，
各学科の先生へインタビューを行いました。

四学科の変遷

小樽商科大学ができてから今まで，四学科はどのように変化してきたのでしょうか。表にまとめてみました。

	大　学	経済学科	商学科	企業法学科	社会情報学科
1949	小樽経済専門学校から小樽商科大学へ	経済学科発足	商業学科発足		
1965					管理科学科発足
1978			商業学科に「商学コース」と「経営法学コース」を設置		
1991	学部改革，夜間主コース設置		商学コースから商学科へ	経営法学コースから企業法学科へ	管理科学科から社会情報学科へ

学科別データ

	経済学科	商学科	企業法学科	社会情報学科
専任教員数（H24.10.1 現在）	21	16	16	16
収容定員　※1	596（149）	632（158）	472（118）	360（90）
2012 年度開講科目数　※2	39	41	42	47

※1収容定員の( )内は1学年あたり
※2研究指導，卒業研究，自由科目を除く

昨年度学科別就職状況

産業別就職人数トップ3

	全　体	経済学科	商学科	企業法学科	社会情報学科
1位	金融・保険業(126)	金融・保険業(50)	金融・保険業(42)	金融・保険業(22) 公務(22)	情報通信業(18)
2位	卸売・小売業(56)	卸売・小売業(16)	卸売・小売業(26)		金融保険業(12)
3位	公務(53)	公務(13)	製造業(21)	情報通信業(7)	卸売・小売業(10)

( )内は人数
出典：平成24年度小樽商科大学概要

経済学科

経済学科

山本　賢司先生

―経済学科の特徴について教えてください。

「経済学の理論と応用，統計的な分析方法，経済の歴史的な形成の3つを偏りなく勉強できる学科だと思います。統計的な分析方法とは，経済学で考える仮説や現象を数値データを使って説明できるのか，その数値データをどのように扱うのかというものです。経済の歴史的な形成は，過去から現在の形になってきた経済のしくみの歴史を勉強します。

小樽商科大学の経済学科は，現在使われている経済学の考えに昔から取り組んできた数少ない学科です。たとえば限界代替率などの『限界』という概念は，普段の生活では意識されないものです。そういった考えを本学科は第二次世界大戦前から学生に教えていました。今では世界共通の考え方ですが，当時の日本でその考え方に取り組み，100年近く続けている大学は本当に少ないです」

―経済学科では何を勉強できるのでしょうか。

「経済学は物の見方のひとつの体系だと思います。たとえば，卒業後の職業選択と国の産業構造の問題では全く違う問題に見えると思いますが，経済学ではどちらも選択の問題なのです。中東の国では原油を汲み出して輸出する産業が盛んです。しかし中東の国は，原油を使った産業ではなく農業をする道も選べるわけです。ただし雨があまり降らない中東で，農作物を育てるには費用がとてもかかります。原油を輸出し，そのお金で外国から農産物を輸入する方が効率的なのです。職業選択も，自分の得意分野から選びますよね。『自分の得意なものから選択する』という面では職業選択も産業構造の問題も同じ理屈なのだというのが経済学の考え方です」

―将来経済学科で勉強したことはどのように役立つでしょうか。

「経済学を勉強している人は，どの国でも基本的に同じ内容を勉強しています。経済学について，国境を越えて共通の概念で対話ができると思います。そういう意味では国際性がありますね。

また，経済を分析する専門職に就くことができます。IMFや中央銀行などの機関だけでなく，民間企業にもエコノミストと呼ばれる人たちは必要です。経済学を勉強した人にしかなれない職業です。

もう一つあります。大学を卒業した後，結婚や子育て，住宅などお金がかかるものが色々出てくると思います。どこからか借金しなければいけなくなり，返済計画を考えることもあるでしょう。退職したあと，今までと同じような暮らしをしたいと思うときは，働いている時に貯金しておかなければいけません。どんな職業に就こうと，このような問題は避けて通れません。経済学の知識があると，こういった問題を少しは易しくしてくれると思います」

―商学科と経済学科の違いを教えてください。

「商学科は企業がどういう商品を企画販売するのかという問題や事業計画や資金調達の問題，株式会社が株主にどうやって情報開示をするのかという問題など，基本的に企業の行動選択を扱い，研究しているのだと思います。一方経済学科では，たとえば燃費がいいからガソリン車よりもハイブリッド車を買う，というような家計の選択や，税金を徴収している政府が，どういう風に税金を使うのかも扱っていきます。経済学科は世の中の経済全

商学科

体を見渡そうとするのに対し，商学科はもう少し視点を狭めて，企業の方に焦点を当てているのではないでしょうか」

―数学が苦手な生徒は経済学を勉強することは難しいでしょうか。

「ハンデはあると思います。ただ，経済学科では数学はあくまで道具であり，目的ではないです。客観的に命題や研究結果を示すのに数学が有効だから，使うのです。『物価水準が低下しました』と『消費者物価指数が，前年と比べて2パーセント低下しました』では後者の方が客観的ですよね。『経済分析の基礎』という本で，著者のサミュエルソンは裏表紙に『Mathematics is a Language』という文章を引用しています。経済学で数学はあくまでも一つの言語として使っているのだと言っています。経済学を勉強する学生にとっては，経済に興味があって，その上で数学の勉強も必要なのだと割り切った方がいいと思いますよ」

△『経済分析の基礎』
佐藤隆三訳，勁草書房

―最後に学生に向けて一言お願いします。

「学科選択では四学科それぞれしっかり調べて，自分の責任で選択してください。周りからいろいろ聞くと思いますが，参考程度にして，最後は自分の判断で決めてください」（石崎）

商学科
石川　業先生

―商学科の特徴を教えてください。

「小樽『商』大と言えば！のイメージで，他の学科と比べて『全体として中庸』『普通』な学科かもしれません。志望者数の多さは『無難』な選択のせいだとか，教員も『広い意味でおおらか』で選びやすいからと聞きますが，もちろん積極的な動機を持つ人こそ歓迎。少し高めの倍率も乗り越えた人同士が，同じ授業やゼミでお互いを高めやすい環境だと思います」

―商学科では何を勉強できますか。

「簡潔に言えば，ビジネスのセンスです。ただの直感や才能でなく，理論と実践のバランスから成り立つセンス。理論だけでは現実を変えるのが困難だし，実践だけでは自己満足から抜け出すのが難しい。本人次第の部分もありますが，商学科では，理論と実践を両立させるセンスを得る機会が多いかも」

―どんな生徒が商学科に向いていると思いますか。

「グループワークやプレゼンテーションをしたり，ゼミでなくとも教員と議論しながら，教科書を離れて現場を意識する授業が，商学科では比較的多いと聞きます。そこでは理論と実践の意識が求められるはずなので，まずはその意識を持ちたいと思う人が商学科に向いていると思います。ビジネスのセンスを身に付けるのに必要な，やわらかい発想，姿勢を持てるかどうかも，相性の1つかもしれません。

ただ，同じような人が集まるよりは，多様性があったほうがいい。だから，ひとまず商学科の科目に関心を持てる

だけで良い相性だと思います。向き・不向きには，自分で変えていける部分もあるし」

―将来商学科で勉強したことはどのように役立つでしょうか。

「やっぱり，ビジネスのセンスとして役に立つと思います。理論を土台にしながら，その先の，理論だけで見えてこない実践を，思い切って自由に積み重ねるのがビジネスのセンスだと思います。経営者にならなくても，従業員だろうと公務員だろうと，日常的な取組みをこなしていくときでさえ，ビジネスのセンスは活きます。理論と実践のどちらか一方に頼れば限界がくるのも早いですけど，両方に立ち位置をつくれたら，相乗効果は長持ちします」

―商学科と経済学科との違いを教えてください。

「時々聞くのは，経済学は鳥の目，全体的な視点を持つのに対して，商学や経営学は虫の目，局地的な視点を持つ，という分類です。だけどその分類で，例えばミクロ経済学を含めて，すべてきれいに分類できるわけではありません。私の専門の会計学でも，経済学の知識が無いと，国際的な水準の論文は読めない状況です。経済学と，商学・経営学・会計学との境界は，決して明確ではありません。

でも，あえて違いを挙げるなら，経済学はより理論的・客観的，商学はより実践的・主観的だと思います。世間ではどちらも必要な観点だと思うので，良し悪しも簡単には言えませんが，1年生の時に履修できる授業だけでも，相性は探れると思います」

―商学講座と経営学講座の違いについて教えてください。

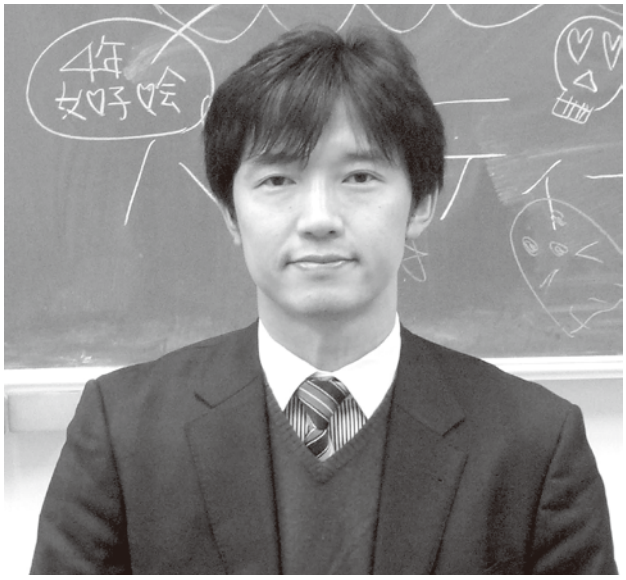
「厳密ではないですが，『商学科』という大きな円があって，その中心に近いところで主役を務める企業の，内側に注目しながら『経営学講座』が小さめの円を描く。そしてそれを取り巻くように『商学講座』が，企業の内側と外側のつながりをカバーする形で大きめの円をつくっている，というイメージです。

科目で言えば，例えば『経営学原理』（経営学）を，『流通システム論』や『社会と金融』（商学）が取り巻くような関係。それらはつながっていますから，境界が曖昧になるのも不思議ではないです。

ちなみに『会計学講座』は，『商学科』の大きな円の中のどこでも使われる道具，裏方を担います」

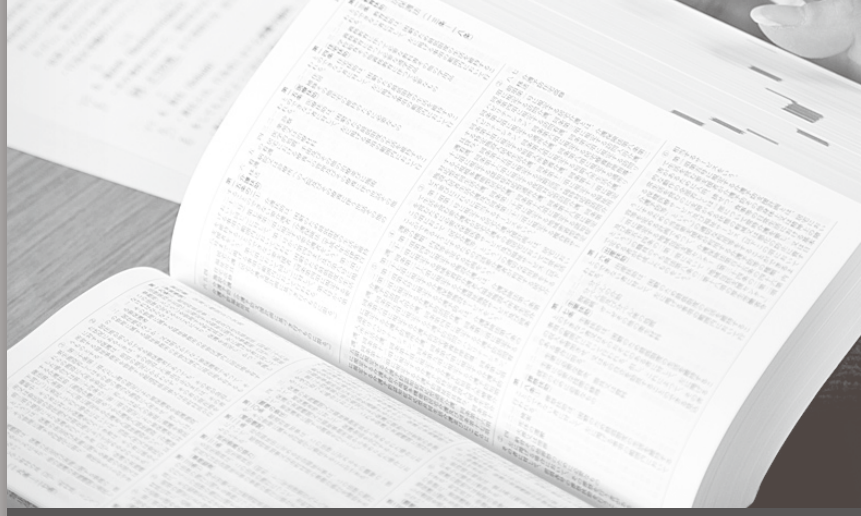
―最後に，学生に向けて一言お願いします。

「昨年，2011年12月5日の『商大くんがいく！』も読んでください。自分の進路を決めるための理由や素材は，すでに身近なところにあるのでは？　それを自分で見つけたり，構築できる人は，どの学科に進んでも伸びます。商大では学科の垣根がわりと低いから，自由なキャリアデザイン力が試される。教員等を目指す場合も含めて，選択の重みを変えるのは，まずは自分の意志です」（絹川）



△石川業先生

企業法学科



企業法学科

南　健悟先生

―企業法学科の特徴について教えてください。

「他の大学でいうと法学部に相当する学科機能を備えていて，基幹六法(憲法,民法,刑法,民事訴訟法,商法,刑事訴訟法[本学では基礎法特講])が開講されているため既存の他大学の法学部と同程度の内容を学べます。一般的に公務員志望が多いと言われますが，金融機関やその他一般の小売業に就職する学生も多くいます。他学科に比べるとフィールドワークは余りないため，地味に思われがちですが，一生懸命勉強したい人にはいいかもしれません」

―企業法学科では何を勉強できるのでしょうか。

「先ほども言った通り基幹的科目も学べます。ただ企業法学科は『企業法』です。公務員志望が多いと思われがちですが，一般企業でも最近ではコンプライアンス(企業内における法令遵守)がよく問題になります。そのため，法令違反がないよう企業法務に関わるような科目，知的財産法や労働法，社会保障法といったものもきちんと勉強できます。一応企業法務に関わりそうな法律はまんべんなく勉強することができると思います。

あとは，自分の身は自分で守ることができるようになります。学生のうちから法律問題に巻き込まれる人は結構います。ある意味法律は保険のようなもので，何かあった時にいかにマイナスにならない様にするかということが一番大きなポイントかもしれませんね。『もし万が一こうなったら』というものを予防しておくことができるのが法律の特徴かもしれません」

―どんな生徒が企業法学科に向いていると思いますか。

「もちろん法律が好きな人は向いているでしょうね。個人的意見としてはパズルゲームが得意な人も向いていると思います。法律の解釈はパズルゲームに近いので，いかにその解釈をきれいに組み立てていくかということが法律学には役立つかもしれません。また“もし万が一こうなったら”といったことが考えられる学生は向いているかもしれませんね」

―将来企業法学科で勉強したことはどのように役立つでしょうか。

「公務員試験には向いていると思います。採用される試験内容で異なりますが憲法や民法はかなりの確率で設定されているので，他学科で法律を知らない人に比べれば，かなりのアドバンテージになると思います。

また一般企業においても，企業内部での法令というのは重要視されています。簡単に会社がつぶれる時代なので法律違反で企業の存続に関わります。あと金融機関においては絶対に勉強しなければなりません。融資業務をするにしても担保物権を設定するか，保証人を付けるかといったことが必ず問題になります。金融機関で働いているのに，『抵当権』がわからないとなると問題ですよね。他に証券会社であれば，証券にかかわる資格試験，その他の業種でもファイナンシャルプランナーや宅建といった資格を取るように求められることがありますが，こういうものには全部法律科目があります。企業法学科ならばアレルギーなく取り組めることができるのではないでしょうか」

―留年率が高いのは本当ですか。

「嘘です。自信を持って都市伝説といえます。学科で以前調べたことがありましたが，少なくともワースト1ではありませんでした。単位がシブいことについても都市伝説です。信じてもらえませんけれど」

社会情報・学科

社会情報学科

大津　晶先生

―社会情報学科の特徴を教えてください。

「他の学科に続く，4つ目の専門分野というよりは色々な社会的な問題に対する方法論を幅広く備えていることが特徴だと思います。社会情報学という学問的な体系ではなく，商学科的な要素や経済学科的な要素も学びます。先生方にも特徴があり，心理学系の人や都市計画系の人もいます。どちらかというと応用分野的な人が多いように思います。共通点は問題に対するアプローチが比較的数学的手法やコンピュータを使う人が多く，道具としてそれらを駆使しているというのが特徴だと思います」

―社会情報学科では何を勉強できますか。

「先ほども言った通り，幅広く勉強することができます。道具としての数学やコンピュータをよりうまく使えるようになろうという発想で勉強できます。応用分野はいろいろありますが，より上手な道具の使い方としてとらえてもらえると説明出来ると思います。数学やプログラム言語については，すこし極端な喩えで言うなら“第三の外国語”くらいに思ってもらうと良いかもしれませんね。商大の学生は英語を道具として学ぶ学生が多いと思いますが，同じように新しい問題を解決するためのアプリケーション思考の勉強出来るということだと思っています」

―どんな生徒が社会情報学科に向いていると思いますか。

「欲張りな人，いろいろ勉強したいと思っている人や論理的な思考を好む学生のほうが向いていると思います。もちろん出来ない人や苦手な人はそれを養うために来てもらいたいです。他には理系文系に分けられることがいやな人

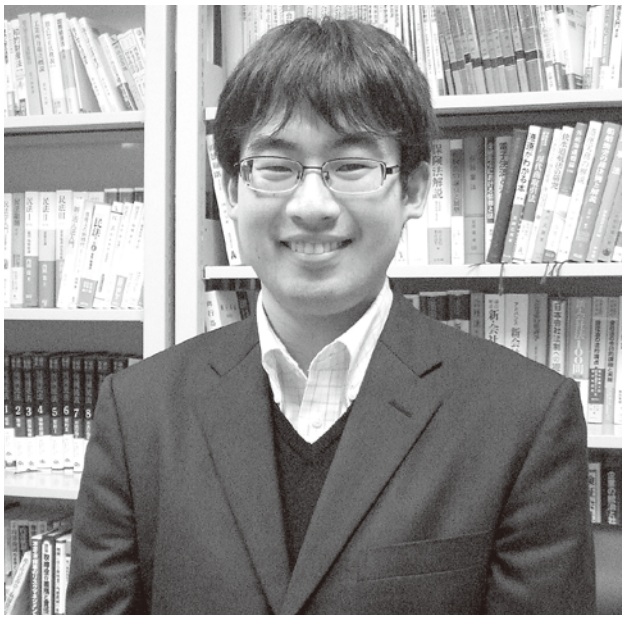
―法律の良い勉強方法(予習復習など)はありますか。

「法律の答案は型が決まっています。まず問題提起をしてどう法律が解決するかを条文から解釈します。しかし条文通りに解決できる問題などそれほどありません。抽象的な文が多いですから，そこから自分の意見を展開していくために条文の言葉を説明していく必要があり，それに沿って考えていくと最終的に適用される，されない，という形さえできれば，試験答案を書くことは簡単だと思います。しかし普通に勉強しても難しいでしょう。

勉強する方法としては，まずは最低限の知識は必要なので教科書を読むこと。もう一つは答案に書きなれること。書きなれるためには，最初は丸暗記が一番だと思いますが，法律の勉強の仕方を説いた本も数多くあるので，利用してみるのもいいのではないでしょうか」

―最後に学生に一言お願いします。

「企業法学科を選んでください。思っているほど大変じゃありません。ぜひ来てください。お願いします」（木南）



△南健悟先生

は向いているかもしれません。知識を身につけたいという人よりは，これによって課題を解決したい人の方が向いているように思います」

―将来社会情報学科で勉強したことはどのように役立つでしょうか。

「大学では学ぶことの意味などを学んでほしいと思っています。社会情報学科では何か問題に直面したときに論理的にその問題を分析，整理して理解しようとし，きちんと判断できる人になることができると思います。より物ごとを効率的に解決しようとし，リスクとベネフィットのバランスといった全体像を批判的に見た上で，建設的な解決思考を持った物事への立ち向かい方というのはどんな企業や職種に行っても役に立つし，必要とされることだと思います」

―なぜ社会情報学科のみゼミ選択の方法が違うのでしょうか。

「これはよく知りません。なぜか昔からそうなっています。一つ言いたいのは，ゼミ選択の仕組みについてはすごく誤解が蔓延していると思います。社会情報学科のゼミしか選べないという発想をする人も多いですが，これは間違いです。社会情報に出して落ちたら他の学科の二次募集に出してはいけないと思っている人もいますが，そんなこともありません。もし第三まで希望するところがないのなら書かなくてもいいと思います。特殊だと思われているかもしれませんが，学生にとって選択肢を増やすことは利益となるはずです。ひとつの学部に4つの学科があり，講義はもちろんゼミも幅広い分野から選べることが小樽商大の特徴ですから，オープンゼミやオフィスアワーなどを活用していろいろなゼミのことを調べることを勧めます。先輩の情報も大事ですが，大学生活の半分の時間を過ごすことになるのですから自分の目で見ることが大切です。就活の時だってみんな“業界を絞らず幅広く”と言ってますよね」

―パソコンが使えないと社会情報学科で学ぶのは難しいでしょうか。

「使えたほうが苦労は少ないというのはあるかもしれません。それは英語が話せる人のほうが英語の授業で楽をできるのと同じことです。ただ，英語などと違って，プログラミングのようなことは普通は大学からやるものです。関心がある，やってみたい，と思った人がハンディキャップを受けるようなことはありません。前提としてプログラミングなどが理解できていることを求めているわけではないです」

―最後に，学生に向けて一言お願いします。

「行きたい学科に行ってくれたらいいと思います。ただ，どうしても希望の学科に行けない人もいます。行けなくても色々な科目を取れる大学なのでそれぞれの学科で頑張ってください。社会情報学科に関しては，あまりコンピュータなどの苦手意識などを持ちすぎず，一年生のときの授業で面白いなと思ったら飛び込んで欲しいと思います」

（澤田）

△大津ゼミ一同

マジプロ

小樽になくてはならない活動隊をめざして

皆さんは「マジ（本気）プロ」をご存知ですか？　「小樽の活性化について本気で考えるプロジェクト」であるマジプロの活動は今年で5年目。ネットや新聞で見たことあるよ，なんて方もいますよね。そこで今回は，マジプロについて徹底取材しました。今年度はなんと70名の学生が履修していて，14のグループに分かれて課題に取り組んでいます。

街に繰り出て市民や企業の方と一緒に活動しているマジプロは，今や小樽の街になくてはならない存在，そんな街の人の声が聞こえるほどです。来年は君も是非挑戦しませんか。

実践の中で学んでいく。小樽に対して私達ができること。

教育開発センターキャリア教育開発部門長
社会情報学科　准教授　**大　津　　晶**

マジプロって何？

「商大生が小樽の活性化について本気で考えるプロジェクト（マジプロ）」は「地域連携キャリア開発」という名前で開講されている２年次配当学科発展の４単位科目です。およそ半年（5月～11月）のあいだ小樽の活性化を目的としたさまざまなテーマの課題に対して３～５名のチームで具体的な目標と工程を設定し，学外の協力団体などと協働して実践するというもので，最近では多くの大学でこのような新しい形態の実践型授業が地域連携PBL（Project/Problem Based　Learning）や地域インターンシップとして導入され始めています。

本学では，キャリア教育プログラムのひとつとして位置づけてあり「社会科学と職業（総合科目Ⅱ）」で学んだ大学での学びと社会の関係とグループワークの手法を基礎として，地域のさまざまな課題に“丸腰で”取り組むことで，学ぶことの意味を理解し加えて大人たちとの協働を通じて多様な価値観に接することで専門的学習や研究指導（ゼミ）への動機付けを強くしてもらうことがねらいです。つまり「ご飯をおいしく食べるために，たくさん動いてお腹を空かせておく」ようなものだと考えれば分かりやすいですね。

今年度のマジプロ

今年度の本気プロでは，70名の学生が12の課題（詳細は次ページ）に取り組んでいます。活動エリアの拡大やまったく新しい分野の開拓に挑戦すると同時に，今年の本気プロにはこれまでに無い2つの特徴があります。ひとつは【提案課題コース】の設定で，これはサークルや学生グループなどが自分たちでテーマを設定し協働先とともにプロジェクトを実践するコースです。今年度はSEA-NA，たるもじゅ，地獄坂工房，翔楽舞などがこの提案課題コースを活用してそれぞれの団体の地域連携活動を拡大・深化させています。

もうひとつの工夫は【プロジェクトの見える化】です。専用のフェイスブックページ（www.facebook.com/oucmaji）を開設し，従来は中間発表会などに限られていた情報発信と意見交換を随時行うようにしました。さらにサイボウズというグループウェアも導入して，チーム内の情報共有とプロジェクトの進捗管理を効果的に行っています。

去る12月11日（火）には，今年度の活動の締めくくりとなる最終発表会が開催され，各プロジェクトの経緯と成果について発表した後に，出席していただいた市民や来年度受講を検討している1年生とともに，今後の成果の活用方法や来年度のテーマなどについて活発なディスカッションを行いました。来年度も多くの学生諸君の履修を期待しています。

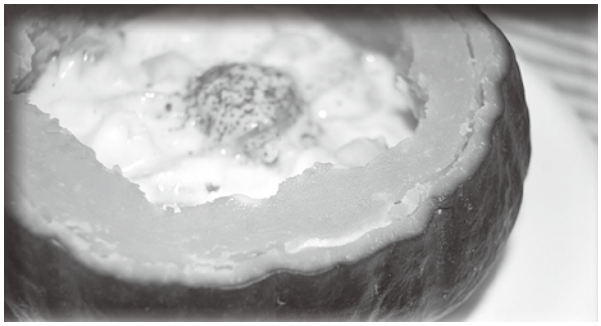
本気プロ

マジプロ2012年 グループご紹介

マジプロでは，現在14チームに分かれて活動しています。小樽の活性化に向けた，全チームの主な活動内容をご紹介します。

1. 小樽・後志の地産地消の推進A

小樽商工会議所の「知産志食」プロジェクトの認知拡大・定着化に向け，活動の初期段階として，農家や直売所等を訪問して現状を調査します。調査をもとに，最終的にプロジェクトの広告方法を提案します。



2. 小樽・後志の地産地消の推進B

小樽でどんな食材が獲れているか知っていますか？小樽・後志の食材をもっと身近に感じて欲しい，もっと良さを感じて欲しい。地産地消メニューを普及，推進させる活動に取り組んでいます。

3. 小樽・後志の地産地消の推進C

連携先のジューシーマーケットさんと協力し，農家を訪問したり，イベントで地元の野菜を使用したジュースを販売しています。小樽市民の地元食材に対する消費意欲を高めることで，小樽の活性化を目指します。

4. デザインによる小樽ブランディング

小樽の街中に配置された小樽柄缶バッチを集めながら地図柄トートバッグをデコってもらいます。運河清掃活動に募金するごとに缶バッチを配布，楽しみながら小樽をもっと知ってもらうプロジェクトです。

5. 観光情報コンテンツの制作と活用

小樽の魅力・情報を知っていて観光資源となり得る「人」や映像等を使用し，『ICT』の効果的な伝達手段を通して，観光客やこれから観光をしようと思っている方々に小樽の魅力を伝えます。

6. 地域コミュニティの強化

小樽市民が小樽で生活するにあたり必要としていることを，NPO法人小樽ソーシャルネットワーク主催の「オタルまちかど大学」を通じて情報発信。人と人との繋がりによる地域力を高めていきます。

7. 祝津エリアのプロモーション

おたる水族館やニシン番屋で有名な祝津エリア。そのロケーションを活かしたイベントを考案し情報発信することで，祝津エリア内活性化のきっかけづくりを目指します。

8. デジタルサイネージを活用した地域情報発信

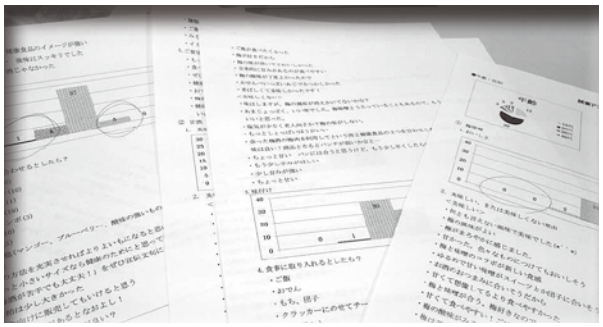
新しい広告ツールである“デジタルサイネージ”。小樽駅に設置されているデジタルサイネージを活用することで，その利点を最大限に活かして小樽のさまざまな情報を発信します。

9. スポーツを通じた世代間交流の促進

サッカーを通じ，子どもたちや指導者同士の交流を図ります。サッカーの楽しさを知り，上達のために自主的に行動するようになるなど，技術だけでなく人間としての成長ができる環境づくりを目標としています。

10. ラジオドラマによる地域イメージの向上

市内のほとんどの飲食店でメニューとなっていながら，小樽市民にとっては地元グルメとして意識されることの少ない「あんかけ焼きそば」。ラジオドラマやCM制作によって市民意識の向上を図ります。



11. 健康食品の開発と販売

高齢者の多い小樽において高血圧症を改善するべく，地元の食材を使用した健康食品を田中酒造㈱と協力して開発します。誰からも好まれる，オリジナリティーあふれる健康食品を目指しています。

12.「現代的なリズムのダンス」の創作と普及

今年度から中学校体育の必修科目となった「ダンス」。「踊り」という共通項を持つYOSAKOIソーランサークル“翔楽舞”のメンバーが，ダンスを通して子どもたちに夢と感動を与えます。

13. 小樽・手稲の地域間交流の促進

小樽と手稲という隣接している2地域において，手稲では「ていね夏あかり」，小樽では「小樽雪あかりの路」が開催されています。「あかり」という共通点を持つイベントを通じ，両地域を繋げたいと考えます。

14. 小樽運河の魅力再発見

小樽運河クリーンプロジェクト（OCC）と連携し，小樽運河を清掃します。小樽運河が汚れている現状を市民に伝え，危機意識を持ってもらうことで，小樽全体の活動へと繋げて市民力を上げていきます。

国際交を開催し

10月20日（土）から10月26日（金）にかけて「国際交流週間」を実施しました。このイベントは留学生と学生，教職員及び地域の方々が国際理解を深めることを目的に毎年行われています。

初日に実施された小樽市および小樽市文化団体協議会が主催した日本文化体験会を皮切りに，「各国文化紹介パネル展」，「商大生協学生委員会による国際交流イベント」，「留学説明会・報告会」，「日本人学生と留学生によるスポーツ大会」，「文化交流会　わたしのお国自慢」，「国際交流パーティ」が行われました。また，今年度については，国際交流センターと附属図書館の共同企画として「商大生よ，旅に出よう」が開催されており，国際交流週間期間中も，図書館にてテーマに沿った図書展示が行われました。

「留学説明会・報告会」には，のべ約60人が参加しました。大学事務局からの説明の他，留学に行った学生から自分の体験に基づいて報告や説明が行われ，本学教員で留学経験者でもある小林敏彦教授，小島直樹准教授，田林洋一准教授からも留学についての指南がありました。

流週間ました!

「商大生協学生委員会による国際交流イベント」では，商大生協学生委員会が留学生のために，本学茶道部や国際交流サークルと協力をして日本の文化を体験できるようなアクティビティーを用意しました。豆つかみ競争や二人羽織では笑いがおこっていました。

「文化交流会 わたしのお国自慢」では，13ヶ国の留学生の出身国についてのプレゼンテーションが行われ，民族衣装に身を包んだ留学生が日本語や英語で自国の文化を紹介しました。

国際交流週間の最終日となる「国際交流パーティ」は，本学国際交流サークルが企画をし，約130名もの参加者が集りました。留学生によるベトナムの歌の披露や，留学生と日本人混合の社交ダンス，またYOSAKOIサークル翔楽舞によるよさこい演舞が行われ，会場が熱気に包まれました。また，パーティの最後にはハロウィーンの仮装コンテストが行われ会場の雰囲気を盛り上げ，留学生・日本人学生，小樽市民など様々な人との交流の場であるパーティは，大盛況の内に幕を閉じました。

第9回 何がでるかな？ 先生のお気に入り!!

経済学科

劉　慶豊 先生

テーマ 音楽

お気に入り

リズムがきれいな曲を好んで聞くという劉先生。そんな先生のお気に入りの曲は倖田來未の「Hot Stuff feat .KM-MARKIT」。歌詞にある「手の届かない望み　そんなものは何一つ　この世の中にないと知っていますか？」という1文に感動するのだそう。「倖田來未の曲は全体的に情熱的ですが，この曲は困難に立ち向かうという精神が魅力的ですね」と先生。演奏している楽器は何かあるか尋ねると「昔は少しギターを弾いていましたが，今は楽器を演奏することはないですね」とのこと。歌うことはあまり得意ではないという先生ですが，ご自宅で娘さんとゲーム機Wiiのカラオケ機能で歌うことがあり，千昌夫の「北国の春」などを歌われるそうです。

◁倖田來未「Hot Stuff feat .KM-MARKIT」

Message

「大学の授業やゼミで頭脳を鍛えることと精神力，コミュニケーション力を培うことができます。授業やゼミの時間を大事にして大学生活を充実させてほしいです」

研究

計量経済学で，同じ経済現象を説明するために複数の異なった候補モデルをどのようにして総合的に利用し，平均化して結論を出していけばいいのか（モデル平均法）を研究されています。（石崎）

企業法学科

結城 洋一郎 先生

テーマ フリー

お気に入り

普段から学生たちには映画を見る様に進めている結城先生の一番好きな映画は黒沢明監督の『七人の侍』。映画は総合芸術と呼ばれるにふさわしく，「アメリカ映画であげると，黒人に対する社会の変化や，登場人物の名前が民族を表しているということなど，意図的に組み込まれているものが，分かるようになると一層おもしろくなる」。最近だと『羊たちの沈黙』という映画がおもしろかったため，小説も読んだそうです。

本であれば，好きなのは『星の王子様』。司馬遷の『史記』は先生の中で最高の歴史書なのだそうです。「『史記』や『三国志』など中国の文化は日本にとって抜きがたい，精神的影響が大きい」という結城先生。

▷羊たちの沈黙（DVD）

Message

「広く興味をもつこと。その中から真に自分の関心があるものが出てくるのであって，最初から決めてやるよりも人生が精神的な意味で豊かになります。また自分一人で存在していると思わないことです」

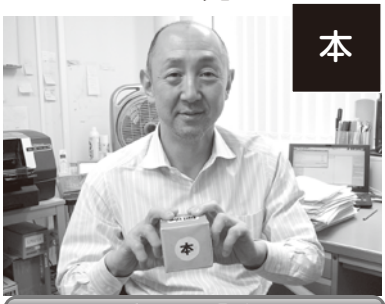
研究

自称ルソー主義者であり社会民主主義者という先生は，ルソーに傾倒し，大学院では民主主義とは何か，社会契約論の構造を研究。現在はそれをベースに置き，日本国憲法の権利づけや理解，個別的な物事をしているそうです。（木南）

社会情報学科

佐山　公一 先生

テーマ 本



お気に入り

最近は自分の専門に関わる本を読むことが多いという佐山先生。そんな先生に学生時代に読んで印象に残っている本を紹介していただきました。渡辺淳一の『花埋み』は，婦人科医は女性でなければならないという信念のもとに日本初の女医となり，男性優位な時代の役所を個人の力で動かし，日本初の女性医学校を作った荻野吟子の波乱万丈な一生を書いた半自伝的な小説です。「彼女は再婚すると，それまで築いてきたものを捨てて夫と共に北海道にわたる。人生の途中までは当時としても進歩的な生き方をしていたのに，結婚後は当時の女性観に従って生きたように読めた。自分の生き方，生きる理由の見つけ方を知るうえで，特に女性は読んでみたら参考になると思う」とのこと。紹介していただいた本は図書館に置いてありますので，一度読んでみてはいかがでしょうか。

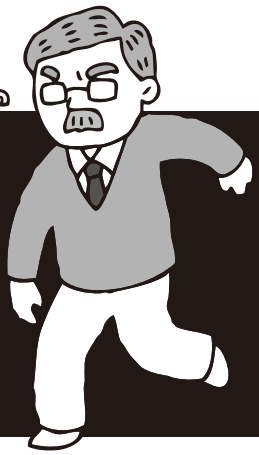
▷渡辺 淳一『花埋み』新潮文庫

Message

「商大の学生は一般に自分の能力を過小評価しているように思います。もっと自己アピールが自然にできるようになってもいいのではないでしょうか」

研究

情報伝達の方法に関する新しい技術がたくさん現れ，社会環境の変化が激しい中で，変化にどう適応して生きていくかをテーマに，コミュニケーション一般の研究をされているそうです。（澤田）



今回で，第9回目を迎える「何がでるかな？先生のお気に入り！！」。先生の意外な一面や趣味を知ることができるこのコーナー。今回は6人の先生の研究室にお邪魔して，サイコロを振っていただきました。（テーマは映画，音楽，スポーツ，本，道具，フリー）

商学科

二村　雅子 先生

テーマ 映画

お気に入り

学生時代はよく映画を見ていたという二村先生。「普段はコメディをよく見ますが，映像がきれいな物，メッセージ性のある物が好きです」。そんな先生のお気に入りは『グッドウィルハンティング』。その映画の主人公の友人が「お前は俺たちとは違う。お前は自分を許せても俺は許せない。…」と言うシーンが心に残っているそう。「良い映画のワンシーンは1回，あるいは数回見ただけで心に残りますね」とのこと。その他にも，「ストーリーが感動的だった」という『ディープインパクト』，また，『インディージョーンズ』や『キューティブロンド』などのコメディもよくご覧になったそうです。

◁『グッドウィルハンティング』
1997 年，アメリカで公開
監督：ガス・ヴァン・サント

Message

「いろいろなことに挑戦して，自分の好きなことを見つけてほしいです」

研究

資本会計，とくに少数株主持分に着目して連結会計における資本と負債の区別に関する研究をされています。（絹川）

一般教育系

中川　喜直 先生

テーマ 本

お気に入り

『もうひとつのスキー発祥の地』という本を執筆なさった中川先生は，市や大学などの図書館で借りて本を読むそうです。大体パソコンで6,7冊予約している状態で，借りた本はちょっとした時間でも読むように心がけている先生。しかし学生時代はスポーツに興味が向いており，本に対しての興味関心が出てきたのは年齢を重ねてからだったそうで，現在読んでいらっしゃる本は『日本酒の起源』。「読む本は様々で，ジャンルは問わずだけれど，一番多く読んでいるのは村上春樹。中でも心に残ったのは『走ることについて語るときに僕の語ること』という本。これを読んで村上春樹はスポーツマンなんだなと思い，共感して，読むようになりました」。

▷村上春樹著
『走ることについて
語るときに僕の語ること』

Message

「よく遊び大学生活を楽しんでください」

研究

中川先生は筋肉をメインに，運動して健康面にどういう影響を与えるか，またスポーツでスポーツ能力をあげたり改善するといったスポーツ生理学を研究しています。現在はスキーによる自律神経機能との関係を調べていて，被験者に心電計をつけて医師とともに共同研究をしていました。（木南）

言語センター

中津川 雅宣 先生

テーマ スポーツ

お気に入り

小さい頃から様々なスポーツを体験し，剣道は有段者という中津川先生。そんな先生のお気に入りのスポーツはバレーボール。小学生から始め，現在では公認指導員の資格を取得して本学バレーボール部の監督を務めています。また，審判員としても全道大会等で活躍中。先生に，バレーボールの楽しさについてお聞きすると「バレーボールは必ず3人が触って，点数を決めるスポーツだというところです。チームのみんなが繋いでくれたボールを決める，その1人ではできないところが魅力ですね。また，1人がみんなにつなぐという点は大きなプレッシャーにもなりますね」とのこと。バレーボールで知り合った多くの仲間とは，今でも交流があるそうです。

Message

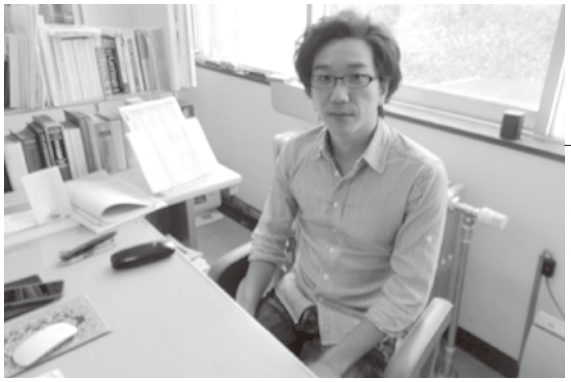
「You can't connect the dots looking forward; you can only connect them looking backwards. So you have to trust that the dots will somehow connect in your future. 私が好きなスティーブ・ジョブズの言葉です。いつの日か皆さんの将来役に立つよう，英語を頑張って勉強しましょう!」

研究

日本で英語がどのように認識され，どのように使われているのか，また，英語の教え方，英語学習の意義などがどうそれにより変化しているのか，社会言語学の視点から日本の英語教育について研究されています。（絹川）

新任教員のご紹介 *New face*

今号の新任教員のご紹介は当大学が運営するブログ「商大くんがいく！」より一部再掲したものです。



永下 泰之

商学部准教授（企業法学科）

研究分野：民法（不法行為法）

担当授業科目：民法Ⅰ

―商大に着任されてまだ1ヶ月ちょっとですが，商大の雰囲気には慣れましたか？

昨年度から非常勤講師として講義に来ていましたし，知り合いの先生も元々多かったので，すぐに慣れました！

―商大にはどのようなイメージをお持ちでしたか？着任されてイメージは変わりましたか？

自然が多く，山に囲まれていて，私の母校の金沢大学に似ていると感じました。キャンパスは落ち着いた雰囲気でとても良いですね！知り合いから商大の良い噂は聞いていたので，そのままのイメージです。

―商大に着任する前は何をされていたのですか？

北海道大学で助教をしていました。それ以前には，北海道道政相談センターや札幌市オンブズマン室で専門調査員をしていたこともあります。この仕事は，道民や市民やの方から行政に関する苦情を聞き，行政の行為が適切であったかどうかの調査をします。専門とはあまり関係のない仕事でしたが，行政の現場を垣間見ることができ，非常に勉強になりました。

―永下先生はどのような研究をしているのですか？

民法の中の，不法行為を専門としています。そのなかでも特に「素因競合」と呼ばれる問題を主として研究しています。具体的に交通事故の例で言いますと，歩行者が自動車にはねられたとき，その歩行者が身体の弱い方だったために大きな被害となることがあります。例えば，身体になにも問題を抱えていない方であれば打撲程度ですんだのに，今回はねられた方はもともと骨がもろかったため骨折までしてしまったという場合です。このとき，考え方は2つあります。第一は，その被害（骨折）に応じた賠償を受けるべきだとする考え方です。他方で，第二は，大きな被害となったのは歩行者が身体の弱い方だったためであるから，身体の弱さが関与した部分については賠償を受けるべきではない（つまり，賠償を受けられる被害は「打撲」についてだけ）とする考え方です。どちらの考え方が妥当であるか，簡単には結論が出せない問題ですが，この問題についての理論的研究をしています。

―趣味や特技はありますか？

バスケットボールが好きで，大学時代は4年間バスケ部に所属していました。体を動かすのが好きでして，最近はジョギングをしています。自転車にもハマリつつあります。昔から体育会系の人間ですので，古くから自分を知っている友人からは大学教員になったのが意外だと言われますね（笑）

―動物に例えるとご自分は何と言われることが多いですか？または何だと思いますか？

周りからは「座敷犬」みたいだと言われます。よく周りの人に良くしてもらっている・可愛がられているからだそうです。それは，良い方々に囲まれて生活できているからなので，ラッキーなことだと感じています！

―商大の学生とはどのように関わっていきたいと考えていますか？

この落ち着いた雰囲気の大学で，学生と一緒に物事を考えていきたいと考えています。試験に受かるための勉強ではなく，社会人になった時にその人の基礎になるような法律の知識をゆっくり教えていきたいです。

―では最後に，商大生のみなさんにメッセージをお願いします！

「今できることをしてください」人生は思ったよりも時間が無いです。まとまった時間が取れるのは大学生の今が最後かもしれません。今だからできることを是非してください！

北川泰治郎 ビジネス創造センター准教授

研究分野：ソーシャルビジネス

―先生はビジネス創造センターの専任教員ですが，どのような仕事をされているのですか？

一言で表すと「橋渡し」です。大学を中心として，企業・行政・地域・商大の卒業生などを結び付け，産学官での連携を構築していくことが仕事です。

― 小樽商大に着任される前は何をなさっていましたか？

商大の学部を卒業した後，株式会社日立製作所に勤めましたが，多くのすばらしい社員の方に出会うことができました。刺激を受けた私は次第に「勉強にリトライしたい」という想いが強くなり，仕事を辞めて商大のビジネススクールに入学し，がむしゃらに勉強しました。ビジネススクール卒業後は，日本オラクル株式会社でサービスの営業をしました。その後，転職を考えていたわけではないのですが，商大のビジネス創造センターで実務家教員の募集があることを知り，挑戦することにしました。

―先生の専門分野を教えてください！

研究者としては1年目ですので，専門分野を言うのは難しいんですが，「ソーシャル・アントレプレナー（社会企業家）」の専門家になりたいと思っています。いわゆる「ソーシャル・ビジネス」と呼ばれる，社会の課題にどうビジネスとしてアプローチしていくべきか，研究を深められたらと思います。

―先生はどんな大学生でしたか？

法律家になりたかったので，司法書士の勉強をしていました。結局受からなかったんですが（笑）。でも24時間で100km歩くイベントに参加したり，日本一周や海外旅行したりと，積極的に外に出て色んな方々から刺激を受けることができました。

―動物に例えるとご自分は何と言われることが多いですか？または何だと思いますか？

「犬」っぽいと以前の会社で隣の席の女性社員から言われました。犬と言われるとビジネススクールで学んだプロダクト・ポートフォリオ・マネジメントの負け犬のイメージがあったので残念な気分になっていたんですが，その方曰く「一緒にいるとなごむから」だと褒め言葉だったようです（笑）

―趣味・特技等ありましたら教えてください！

趣味は「人と出会うこと」です。もともと人付合いが得意なタイプではないのですが，年齢を重ねる度に不思議とそう思うようになりました。あとは野球観戦が好きで，もちろん北海道日本ハムファイターズを応援しています。選手としてはイチローが好きで，彼の生き方・考え方に教えられることが多いです。

―商大生とどのように関わっていきたいとお考えですか？

私は国内メーカー，外資系と民間企業で働いてきましたので，そこでの経験があります。実際の仕事現場や業界の見方・位置づけなど，就職活動の際に何かお手伝いできることがあればと思っています。また，商大ＯＢの一人として，ランチなどを通してゆっくり話してみたいですね。

―商大生のみなさんにメッセージをお願いします！

「見聞を広めてください」自分の知らない分野を見て欲しいと感じます。旅行をしてみるだとか，歴史や文化，芸術に触れてみるだとか，何でも良いのですが様々な経験を通して感性を磨いて欲しいと思っています。何か一つでも自信を持って「知っている」・「見てきた」・「やってきた」と言えるものがあると社会に出た時，良き人との交流から世界がさらに広がります。私自身もまた良き人と出会えるよう見聞を広めています。

就活アンケート!!

第4弾

～先輩の就活体験談をご紹介！～

氏名（学科・学年・ゼミ・部orサークル）内定先
①就活中，最も大変だったことは何ですか。
②就活で辛いとき，どのように乗り越えましたか。
③就活中，心掛けていたことは何ですか。
④就活生にメッセージをお願いします。

佐々木 優さん（商学科4年 高井ゼミ 軟式野球同好会）銀行 総合職

①就活情報の整理です。スケジュールはもちろん，就活イベントの情報や各業界の動向，各企業の情報などの整理・管理が大変で，特にスケジュール管理はESの締め切りや説明会，早い企業では1次面接が始まり忙しくなる3月の予定の取捨選択に苦労しました。
②とにかく色々な人と話しました。同じ大学の友人や他大学の友人，先輩など様々な人と話す事で，新たな情報や知識を知ることができました。何より不安等を話す事で，気持ちに余裕が生まれました。
③とにかく自分のペースで就活をする事です。就活が本格化すると，周りの人たちのES通過や○次面接通過など，様々な情報で自分自身焦ることがありました。なので，就活に正解はないと割り切り，自分のペースで就活を乗り切りました。
④就活中に何度も壁にぶつかると思います。でも諦めずに，常に自分のペースで悔いのない就活をしてください。応援しています！

根廻 早紀さん（商学科4年 プラートゼミ 男子バレーボール部）凸版印刷株式会社 総合職

①エントリーシート（ES）の作成です。締め切りが集中している2月は，期末試験に加えて企業説明会やwebテストなども増えてきて，なにかと忙しい時期でした。
こつこつ取り組んでいたけれど，納得いくものができずに結局締め切りぎりぎり…ということもありました。
②就活は大変でしたが，「辛い」と思ったことは正直ほとんどありません。自分のペースを乱さずに就活を続けられたことが大きかったと思います。また，友人や先輩との情報交換や雑談，家族の励ましなどが気持ちの切り替えになりました。
③「自分のペースを乱さない」ことです。どうしても周りと自分を比べて焦ってしまいがちですが，皆それぞれ目指す業種も職種もバラバラなので，それはあまり意味のないことだと思います。また自分なりのルール（徹夜しない，移動中の時間を有効活用する等）を作っておくことで，効率よく活動できました。
④「○○業界に興味がわかない」「質問が思いつかない」「何をすればいいかわからない」これらの悩みはすべて，自分のやりたいことがはっきり見えていないか，業界や企業のことを十分に把握できていないからだと思います。就活が本格化する前にたくさん聞いて，調べて，考えましょう。悩んだ分だけ，納得のいく結果がきっとついてくるはずです！

就職活動も年々厳しくなりつつある中，不安になること，困ることは多いと思います。
そこで，その不安を少しでも解消するため，就活アンケート第4弾では，内定を得た先輩方の体験談をお聞きしました！

松田 康扶さん

（企業法学科4年 男子バレーボール部，英会話サークルSEA君羅ゼミ）小樽信用金庫 総合職

①忙期のスケジュール管理です。特に2月，3月は応募書類の締め切り日が重なる日が続き，毎日徹夜の連続でした。更に各会社の単独説明会，リクルーター面談も同じ日に重なる事が多く，本当にスケジュール管理は辛かったです。
②なるべく1人でいないようにしました。エントリーシートを書くときも，友達や先輩に見てもらい，悩みを持った時も多くの人に相談をすぐにするようにしていました。こうすることで，不思議と心がすっきりし，応募書類もはかどりました。
③なるべく様々な進路を見る事です。自分は民間企業だけではなく，教員や大学院の道も見ました。せっかく多くの会社を知る事が出来るのもこの就活だけだと思ったので，色々な道を見て，自分が本当にやりたいことを探りました。
④是非楽しんで就活をして下さい！今は不安ばかりかと思いますが，嫌なことばかりではありません。いざ説明会や面接が始まると，色々な人との出会いもあるし，自分の知らなかった事も沢山学べます。好奇心を持って，有意義な就活にして下さい！

渡部 太一さん

（商学科4年 現在はノンゼミ 国際交流（留学先の大学で））海外メーカー　総合職

①私は道外を中心に就活をしていたのですが，アルバイトの関係上，日帰りで東京まで行って来ることが多かったです。また，現在の内定先が第一志望だったのですが，選考開始が6月でしたので，それまでもどかしさを感じながら他の企業を受けていたのが大変でした。
②今までの学生生活は，楽しい時期が多かったので，今回は苦しい時期が来たのだなと自分に言い聞かせ，気持ちの面から辛くならないようにしました。カフェに行き，リラックスすることも多かったです。
③面接の際には，笑顔を忘れず，礼儀正しく行うことを心掛けていました。面接会場に入る前から既に面接が始まっていると意識して臨みました。（実際に，面接の待機場所を案内して下さった若手社員の方が人事の方でした。）
④最初から最後までずっと走り続けることは難しいと思います。途中でペースダウンをしても，終わりよければ全てよしです。今後色んな事が起きると思いますが，周りのペースに飲み込まれず，自分のペースを守り，納得のいく形で就活を終えられればと思います。頑張ってください！

ゼミナール紹介

今回は國武ゼミ，荻野ゼミの皆さんより，紹介文をお寄せいただきました。1,2年生にはゼミがどんなところか，3,4年生には他のゼミについて知るきっかけになればいいと思います。

1 企業法学科：國武ゼミ

とりあえず，「國武ゼミでは何をやっているのか」からいきましょう。ズバリ，労働法といわれる分野です。労働法とは，民法で解決しきれなくなった労働に関する分野を強化するために生まれた法律です。ゼミでの具体的活動は，裁判所が出した判決文を研究（判例研究）して，それについてのディベートをしています。その他にも各人が好きな事柄（法律以外でもおk）についてプレゼンしています。ガチ度は★★★☆☆です。

では，次。「どんな人がいるのか」について。一言でいうと「バリエーション豊か」です。遊ぶときは全力で遊んで，勉強するときも全力で勉強する，そんな人間が集まっています。食事会も楽しく行っていますよ！

最後に，「國武ゼミに入るとどうなるか」について話しましょう。大きくまとめると3点。①論理的に考えて説明できるようになること，②常識を疑えるようになること，③熱い肉食系になれることです。我ながら人間的に成長できるゼミになっていると思います。

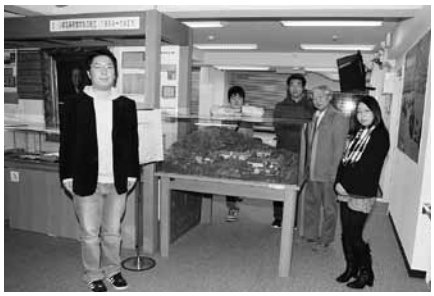
それではお時間，また来週お目にかかりましょう。(｀・ω・´)ドドドドド

2 一般教養系：荻野ゼミ

皆さんはじめまして。そうでない方はこんにちは。歴史学ゼミとなる，荻野ゼミの紹介です。

荻野ゼミはゼミ生4名の比較的小規模なゼミであり，歴史学という一見すると取っ付き難そうな字面とは異なり，和気藹々とのんびりしたゼミとなっております。

192教室という，あるゼミ生曰く『普通に大学生活をしていたら，まず存在に気づかない位置にある教室』に立地していますが，それだけにゼミ室は静かで，空き時間などにのんびり食事をしたり，宿題やレポートを片付けるのには向いた環境です。ただし，日が殆ど当たらないせいか，夏でも異様に寒い日があるのはご愛嬌ですが。



歴史学というと，多くの人たちは『堅苦しいもの』『難しいもの』という印象を持つかもしれませんが，荻野ゼミでの活動は，特にそんな事はありません。特に専門的な知識が無くても，大河ドラマや漫画などで歴史に興味を持ったというくらいの方でも構いません。来年以降のゼミ決定で悩んでいる方は，是非とも隠れ里的（立地条件的な意味で）なゼミである荻野ゼミに来てみませんか？

部・サークル紹介

今年は寒くなるのが早かったですね。今年も残りわずかですが
来年度から彼らと一緒に活動してみませんか？

弓道部

新入生の皆さん，こんにちは。商大「弓道部」です。学生生活には慣れてきましたか？リズムも掴めてきて，上手く時間をやりくりしていることと思います。「大学にも慣れてきたし，何か部活に入ってみようかなぁ…」なんて思っている人もいるのではないでしょうか？そんな皆さん，弓道部に入部してみるのはどうでしょう？
私たちは現在，総勢19人で活動しています。正式練習は火・水・土曜で，平日は16時から，休日は12時から練習しています。そのほかの時間でも専用の道場があるため，毎日好きな時間に練習ができます。人数が少ないため，今なら即戦力になれます。初心者だから…，という理由で迷っているならば，心配いりません。先輩が優しく丁寧に指導してくれますよ。一人一人に必ず師匠がつくので，先輩ともすぐに仲良くなれちゃいます。先輩の中には部活とバイトを両立している人もいるので，バイトをしたい人も安心です。少しでも気になった方は，ぜひ道場（体育館の裏にあるよ！）に足を運んでみてください（・ω・）

弓道部のHPへGO!! →

女子バスケットボール部

こんにちは，女子バスケットボール部です。毎週火曜15時〜17時，土曜9時〜10時半に第一体育館でワイワイ練習しています。「部活はもう…」「バスケ好きだけどできません」そんなアナタでも大丈夫！女バスのモットーはとにかく楽しく！高校の部活のような厳しいものではありません。上記の通り練習は週2回なのでバイトもできます☆

初心者の方も大歓迎！練習メニューは基礎的なものもありますし，先輩が優しくおしえてくれますよ^^

マネージャーも募集中！バスケはやるのはもちろん観るのも楽しいです☆一番間近で観てみませんか？

そして女バスは遊びにも全力です！夏には海。冬は温泉。大会の打ち上げ。大学生活が充実すること間違いなし！女バスは笑いの絶えない楽しい部活です。ぜひ一度見学に来て雰囲気を味わってみませんか？

ブログもやっているので「小樽商大女バス」で検索してみてください♪

男子ラクロス部

こんにちは男子ラクロス部です。僕たち男子ラクロス部は現在選手20名マネージャー7名の計27名で活動しています。さらにここに新入生が加わりつつあります。

さて，突然ですが皆さんはラクロスについてご存知ですか？どんなスポーツかパッと思い浮かぶ方は少ないと思います。ラクロスはマイナーなスポーツって感じですよね…。でも，マイナーだからいいこともあるんです！特に他大学との交流が多いことがあげられます。他大学の練習に参加したり，逆に商大まで練習に来てくれたり。他大学の友達を作るのにはもってこいの部活です！(他大のマネージャーとも交流出来ちゃうかも☆)

ラクロスはほとんどの人が大学から始める人ばかり。スタートラインはみんな同じです。今までのスポーツ経験なんて全然関係ないのです。商大ラクロス部は創部してまだ4年の若いチームですので，ぜひ僕らと一緒にチームを作りそして伝統をつくろう！！選手だけでなくマネージャーも大募集中です。随時練習を公開中ですので気軽に部員に声をかけてください(^o^)

放送サークル たるもじゅ

こんにちは!放送サークルたるもじゅです！たるもじゅは，昨年5月に作られた，設立2年目，まだまだ新しいサークルです★

まず，「たるもじゅ」ってどんな意味か，皆さんご存知ですか?「たるもじゅ」は短縮した形で，正式には「おたるもじゅれーしょん(Otaru Modulation)」と言います。「modulation」とは「変調」という意味で，ラジオの「AM,FM」のMは「modulation」のMなんです。

さて，豆知識を披露するのはこれぐらいにして(笑)，たるもじゅの活動紹介をしていきます。たるもじゅの主な活動といえば，毎週金曜日18時から，FMおたる　76.3MHzで生放送している「たるもじゅゴールデンラジオ」です!昨年10月から放送を開始し，こちらも2年目に突入しました★「たるもじゅメンバーとリスナーの皆様の輝ける1時間」をテーマに，毎週さまざまな企画をお届けしています。11月の放送では，「あんかけ強化月間」と題して，小樽あんかけ焼きそばをPRするべく特別コーナーをお送りしました。ぜひ学校帰りなどに，聞いてみてくださいね♪たるもじゅのさらに詳しい活動内容は，ウェブで「たるもじゅ」と検索し，ブログやTwitter，Facebookを覗いてみてください!

茶道部

こんにちは！茶道部です（裏千家）。現在，学館1階の奥にある和室で，毎週火曜日に活動しています。また，月に一度先生に来ていただき，お稽古をつけていただいています。毎年，緑丘祭に出店もしています。

茶道というと，難しいとか，厳しいと思ってしまうかもしれませんが，初心者が多く，和気あいあいとした雰囲気のサークルです。普段はなかなか経験できないことばかりで，マナーを学ぶチャンスにもなります（おじぎの仕方から始まり，動作もきれいになります）。茶道や日本文化に興味のある人！お茶を飲むことが好きな人！普段できないことをやってみたい人！美味しいお抹茶と和菓子を頂きながら，おもてなしの心を学びませんか？興味のある方は気軽に遊びに来てください♪

剣道部

皆さんこんにちは。商大剣道部1年の長瀬と申します。簡単に，今年101年目の商大剣道部のことを紹介していきたいと思います。

僕は小6から剣道を始め，中学，高校と続けてきました。そして大学生となり，周りの人達も段々と部活やサークルに入っていき，自分も何か新しい事に挑戦してみようかと考えてました。しかし，一本取った時の爽快感や防具のすごく臭いにおいを忘れる事ができず，気付けば道場に足を運んでいました。その後，僕が商大剣道部に入った理由は，もちろん今まで剣道をやってきたからというのも大きいけれど，やっぱり食事会や部活での雰囲気が自分に合っていたからなのかなと思ってます。

夏のインカレでは剣道部主将である酒井美保さんが女子個人の部で優勝を果たし，全国大会に出場しました（詳しくは次ページに）。僕も大学生活4年の中で，1度は自分の力でもって全国へ行きたいと思いました。幸い今年の1年生は男女，留学生併せて9人もの選手がいます。個人で行くには高い壁かもしれませんが，団体としてこの仲間達や先輩方，後に入ってくるであろう後輩達と共に挑み続ければ，いつか越える事が出来ると信じています。

先輩方は強くてとても優しいし，留学生とも友達になれ，今は剣道部に入って本当に良かったと思っています。これからも大会に向けて稽古に励み，みんなと楽しく大学生活を送りたいです。

アイセック 北海道委員会

アイセックは海外インターンを運営している学生のみで運営を行っているNPO法人です。北海道の地域発展に貢献するということを掲げており，時期毎に海外の団体や企業で働きたい大学生・新卒社会人の方々へのプロモーションやイベント企画を行ったり，道内の企業様に対しては，その企業様の業種・企業理念を考慮したニーズ開発を行い，海外研修生受入の提案を企業様に行っています。海外インターンに参加することで，海外の地域が抱える問題の解決に取り組んだり，現地企業で働くことで，英語力はもちろん，問題解決能力や自己実現力といったものを強化することができます。実際に海外研修生を受け入れていただいた企業様・海外での就労を体験した学生の方々からは非常に高い満足を得られており，昨年度は新たに3社の企業様から受入のお約束をいただき，年々増加を続ける送出研修数は初の2ケタ送り出しを実現しました。今後も北海道の地域発展に貢献すべく活動を続けて参りますので，何かの縁がございましたらご支援をよろしくお願いします。

Topics 課外活動編

全道大会個人優勝！剣道部主将 酒井美保さん(経済学科3年)

小学2年生から始めた剣道を，中学・高校と続けてきた酒井さん。昨年から剣道部の主将となり，部員を率いています。

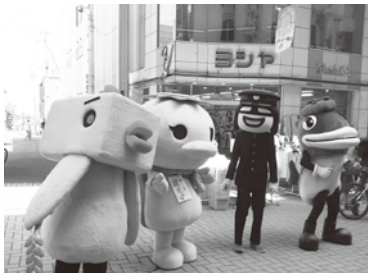
今年5月に行われた「北海道女子学生剣道選手権大会」で，酒井さんはトーナメントを勝ち上がり，個人戦決勝に進出。延長戦の末に面を決め，見事優勝に輝きました。剣道部創部以来初の全道優勝であり，「今回の決勝は，部活仲間やOBの応援がすごくて，勝てて本当に良かったと思いました」。その後，7月の全国大会へと駒を進めましたが，大会が開催された武道館まで，商大OBが20人近く応援にかけつけたそうです。「他の大学と比べても，応援に来てくれたOBの数がとても多くて，商大っていい学校だなぁと実感しました」と感激したようすの酒井さん。「ふだんの剣道部の稽古は，日曜日以外の週に6日。高校の頃はランニングもしていましたが，今はとにかく稽古がメインです。来年度はさらに上位を目指せるよう，これからも稽古に励みたいと思います」と，抱負を語っています。

快挙！ビジネスアイディアコンテスト準優勝！

9月8日，パラシュートグループ主催「第1回ビジネスアイディアコンテスト決勝大会」が開催され，書類審査を通過した「商大生チーム」がプレゼンを披露しました。参加者は社会人が多かった中で，「商大生チーム」は唯一の学生チームとして決勝に進出。「北海道マーケティング」という共通テーマのもと，学生ならではの奇抜なアイディア，そして学生らしく活気あるプレゼン内容で，見事『準優勝』を獲得しました。「私たちは“夕張市の廃墟を利用したサバイバルゲーム(以下サバゲー)の提供”というプランを立てました。かつては炭鉱の街として栄えながら5年前に財政破綻した夕張には，使われなくなった病院，学校などの建物が取り壊すこともできずに残されています。この負の遺産を資源として活用し，街の活性化を目指そうというのがこのプラン。特殊に思われがちなサバゲーを気軽に体験してもらうことで，サバゲーの潜在的なニーズを掘り起こそうというのも売りの一つです」とキャプテンの葛西君(4年)。実際に，サバゲーユーザーや夕張市役所にインタビュー調査を行って現場の声を集めたり，廃墟の空気感を視覚的に伝える資料作りなどに工夫を凝らし，また，大きな声でハキハキと丁寧なプレゼンをすることが受賞につながりました。今回の挑戦で，“伝える難しさ”と“仲間の大切さ”を知ったというメンバーたち。周りの方からの様々なアドバイスのおかげと，感謝の気持ちでいっぱいだそうです。

「SUN☀SUNサマーモール2012」inサンモール一番街を開催！

地域活性化サークル，小樽笑店です。私たちは8月18・19日にサンモール一番街にて「SUN☀SUNサマーモール2012」というイベントを開催しました。二日間に渡り，様々なイベント企画を行いました。ギネスに挑戦！では，小樽市民の方々と一緒にかまぼこを食べ，新たな記録に挑戦し，ビンゴ大会では多くの市民の方に楽しんでいただくことができました。また，今回は商大くん・運がっぱ・えべチュン・たら丸くんといったゆるキャラがサンモール一番街に集結しました。そして商大サークルの翔楽舞，JAZZ研，笛サークルForestにも出演していただいたり，福島県只見町名物のマトンケバブの出店などたくさんの方々に協力していただき，小樽笑店としての新たな取り組みがたくさん詰まったイベントとなりました。(小樽笑店)



「アジュナシア＆メロコトン合同展示会」来場のお礼と報告

今年の7月14日から22日までの期間，南小樽駅近くにあるカフェ＆フラワーショップ「ヴェールボア」にて，私達文芸サークルアジュナシアと美術サークルmelocoton（メロコトン）による合同展示会が開催されました。

期間中は店内にて，メロコトンさんは作品の展示とポストカードの販売，私達アジュナシアは冊子（文集，画集，個人誌の三種類）の無料配布を行ったのですが，両サークルとも学外でのスペースを借りた展示会というものは初めての試みだったので，試行錯誤しながらも進めてきた企画でした。

ですが，結果としては当初の予想よりもより多くの方々に来場していただくことができ，学外も含め，様々な方に私達の作品をお見せすることができたのではないかと考えています。

会場に設けた連絡帳に記入いただいた方にはお礼の手紙やメールを差し上げたのですが，そのほかの来場者さま方にはこの場をお借りしてお礼を申し上げたいと思います。

今後も様々な形で私たちの作品をお届けすることができるよう尽力していきますので，応援のほどよろしくお願いします！

(アジュナシア＆メロコトン)

Topics キャンパス編

小樽商科大学・北海道大学応援団対面式を挙行しました

大学を出発する商大応援団

7月14日（土），円山公園にて小樽商科大学・北海道大学の応援団対面式が行われました。

本学の応援団は10時30分に大学を出発し，校歌や寮歌を歌いながら地獄坂を下り，小樽駅に到着しました。小樽駅からはバスで札幌の大通西11丁目に移動し，団員に加えて，市民・OBの方と共に円山公園まで行進しました。

早速，演舞披露が行われ，太田商大応援団長が挑戦状を読み上げ，北大応援団長が応戦状を読み上げると観客の方からは多くの歓声があがっていました。最後には団旗エールによって両校の健闘を讃え合いました。

北大応援団による演舞

商大応援団による演舞

挑戦状を読み上げる太田商大応援団長

「小樽商科大学緑丘奨励金授与式」を挙行

7月23日（月），学長室において緑丘奨励金授与式が行われました。

緑丘奨励金は，公益財団法人小樽商科大学後援会から助成を受けて平成19年度から実施されているもので，学部，大学院博士前期課程及び専門職学位課程は1年次に優秀な成績を修めた2年次生，大学院博士後期課程は2年次に優秀な成績を修めた3年次生に対して奨励金を授与する制度で，受給者は学部生10名，大学院生3名です。

授与式では山本学長から各学生に，今後もさらに努力を重ねて他の学生の模範となってほしいとの励ましの言葉がかけられ奨励金が授与されました。

第44回 緑丘戦没者慰霊祭を挙行しました

献花をする参列者

グリークラブ・カンタールによる校歌斉唱

8月15日（水），構内の戦没者慰霊塔にて，緑丘戦没者慰霊祭が挙行されました。昭和44年に建立されたこの記念塔には当初，321人の氏名が墓石に刻まれていましたが，その後戦死が明らかになった学生の氏名が追加して刻まれ，現在は347人の学生・教員の御霊が眠っています。

この慰霊祭は，昭和44年の記念塔建立以降，毎年途絶えることなく行われており，今年で44回目を迎え，ご遺族，同窓生，大学関係者が約90名参列しました。

正午のサイレンを合図に黙祷をした後山本学長は「不戦と平和への願いを次世代に引き継いでいかなければならない。」「一人一人の命の尊さを伝えることが教育の使命・原点である。」と話されました。

田尾緑丘会札幌支部長からは，「再び辛い歴史を繰り返してはならない。今日の平和が諸先輩の犠牲の上に成り立っている。」とのお言葉がありました。

慰霊祭の最後には，本学の合唱団グリークラブとカンタールによって，校歌が披露されました。今年はグリークラブのOB数名も合唱に加わりました。

若くして亡くなった学生，教員の霊を慰め，平和への誓いを新たにする1日となりました。

平成24年度オープンキャンパスが開催されました

8月6日（月），平成24年度オープンキャンパスが開催されました。小雨の降るこの時期としては，肌寒い天気の中で開催された今年は，約1,320名の参加がありました。

当日は，時間帯ごとに「大学説明」を6会場に分けて実施されました。各会場では，山本学長の挨拶からはじまり，和田，大矢，奥田の3名の副学長がそれぞれの会場に分かれ実施した「大学概要説明」，各学科等の教員による「模擬講義」，「学食体験」，本学教員による「入試相談」など様々なイベントが行われました。

また，「生協学生委員会」が中心となって，「緑丘祭実行委員会」「硬式テニス部」「卓球部」など本学学生の協力のもと，「キャンパスツアー」をはじめ，「商大生との相談会」，「サークル体験」なども催され，各イベントでは，参加した高校生たちが，本学学生に対し，入試や大学生活における様々な質問をする場面も数多く見られました。

さらに今年度は，「学食体験」の時間帯に「ジャズ研」による演奏会，模擬講義終了時に「緑丘祭実行委員会」による「流しそうめん」，終了時には伝統の應援團による演舞も披露され，参加した高校生たちは，本学キャンパスでの夏を大いに満喫しているようでした。

最初のイベント「大学紹介」。学長の挨拶，副学長による大学概要説明等が計6会場で行われました

毎年盛況な「学食体験」ですが，今年度も約9割の方が利用しました。また，混雑緩和のため，大学会館前にもパラソル等の席が設けられました

「模擬講義」は，学科等に分かれ6つの講義が行われました。高校とは違う大学の講義に，高校生は真剣に耳を傾けていました

「緑丘祭実行委員会」による「流しそうめん」。多くの高校生が参加していました

飲酒事故防止説明会を開催しました

アメフト部の飲酒事故を機に設置された「小樽商科大学における学生の飲酒事故の再発防止等に関する第三者委員会」の提言を受けて，全学生に対する飲酒事故防止のための説明会を開催しました。特にサークルの納会が多くなる年末を控えた11月を中心にキャンペーン期間とし，部員数の多いサークルから順次説明会を開催した結果，合計7回の開催で約1500名が参加しました。

10月30日に開催された第1回目の説明会では，山本学長からアメフトの飲酒事故についての説明があり，このような事故を二度と起こしてはならないと強く訴えられました。引き続き，大矢教育担当副学長が飲酒，特に未成年飲酒の怖さについて解説され，大学は飲酒に対して厳しい態度で臨むとし，アメフトの飲酒事故で行った学生処分について言及すると，参加した232名の学生は真剣な面持ちで話に聞き入っていました。

平成24年度「保護者連絡会」を開催

11月3日（土），1年次生及び3年次生の保護者を対象に210講義室で「保護者連絡会」が開催されました。この連絡会は，本学の学生支援の取り組みを保護者に直接説明し，また，保護者からの質問に答えることにより連携を強めるために平成18年度から開催されています。

今回は，冒頭に山本学長より今春発生した学生の飲酒死亡事故について改めて報告するとともに，再発防止の取り組みについてを説明し，家庭での協力についてのお願いがありました。

連絡会プログラムは学生の就職支援を中心に構成され，就職環境の現状に関する講演のほか，本学及び学生団体による就職支援の取り組みについて報告が行われ，340名の参加者は熱心に耳を傾け，また，盛んに意見交換が行われました。

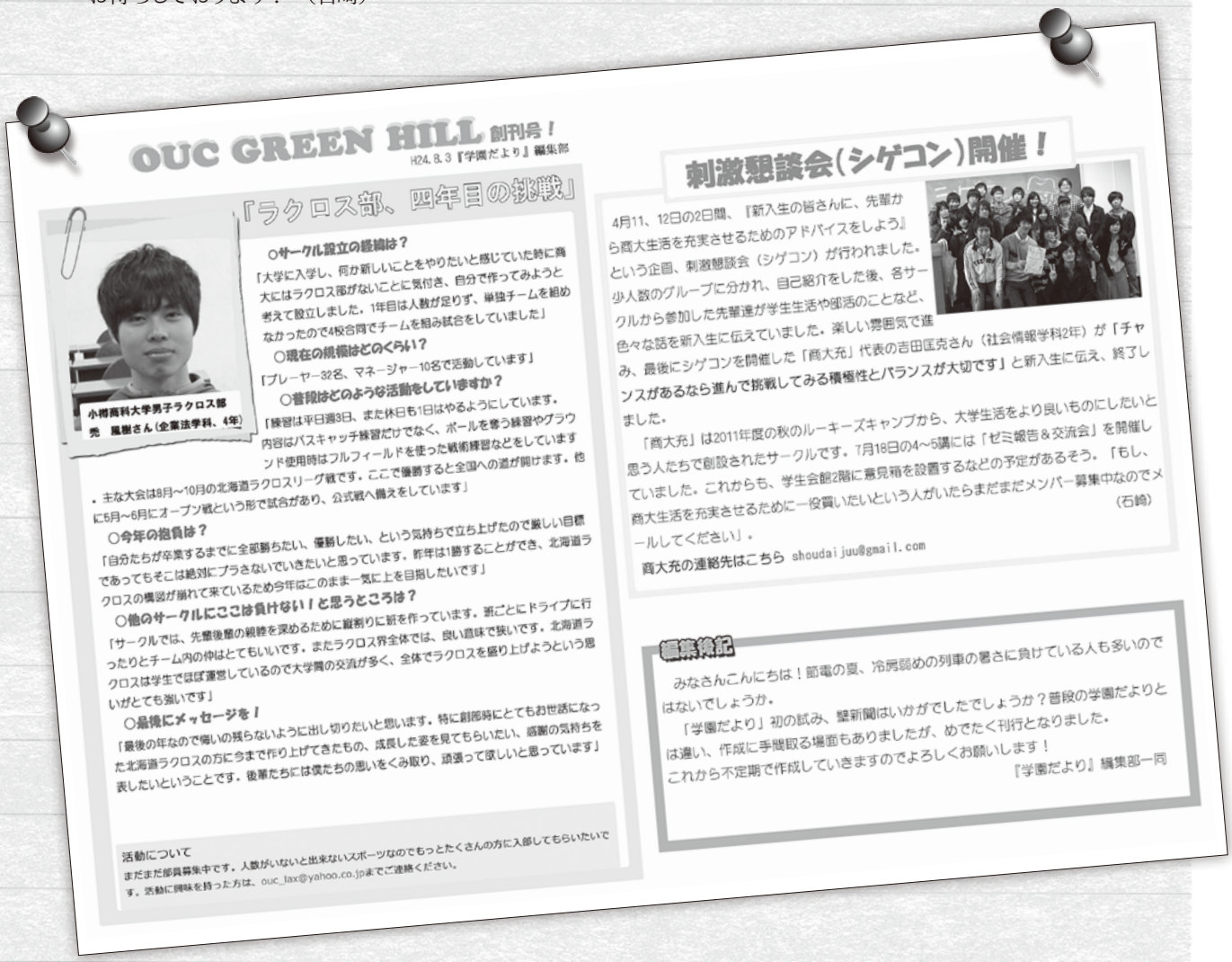
連絡会終了後は，就職，留学，修学関係の個別相談が実施されました。

壁新聞『OUC GREEN HILL』発行しました！

7月に『学園だより』編集部は『OUC GREEN HILL』という壁新聞を発行しました。記念すべき創刊号には男子ラクロス部を創設した禿風樹さんへのインタビューと，商大充が開催した第1回シゲコンの様子を載せました。みなさん読んで下さったでしょうか？創刊号はサイズが小さかったのですが，第2号からはもっと見やすく，大きくしようと思います。3号館の学生控室や，学生会館の2階，210と160教室前の廊下に掲載してありますので，まだご覧になっていない方もぜひ読んでください！

第2号は1月に発行予定です。内容は新聞の活用方法と，新聞のことについて皆さんにご回答いただいたアンケート結果の発表をしたいと思っております。

現在，『OUC GREEN HILL』は年に何回発行するか未定ですが，定期的に発行していく予定です。壁新聞『OUC GREEN HILL』に載せる記事内容はいつでも募集しております。「部活を紹介してほしい」「こういう話題を取り上げてほしい」等，お気軽に**ouc_gakuendayori@yahoo.co.jp**までご連絡ください。お待ちしております！（石崎）



OUC GREEN HILL 創刊号！

H24.8.3『学園だより』編集部

「ラクロス部、四年目の挑戦」

小樽商科大学男子ラクロス部
禿　風樹さん（企業法学科、4年）

○サークル設立の経緯は？

「大学に入学し、何か新しいことをやりたいと感じていた時に商大にはラクロス部がないことに気付き、自分で作ってみようと考えて設立しました。1年目は人数が足りず、単独チームを組めなかったので4校合同でチームを組み試合をしていました」

○現在の規模はどのくらい？

「プレーヤー32名、マネージャー10名で活動しています」

○普段はどのような活動をしていますか？

「練習は平日週3日、また休日も1日はやるようにしています。内容はパスキャッチ練習だけでなく、ボールを奪う練習やグラウンド使用時はフルフィールドを使った戦術練習などをしています。主な大会は8月～10月の北海道ラクロスリーグ戦です。ここで優勝すると全国への道が開けます。他に5月～6月にオープン戦という形で試合があり、公式戦へ備えをしています」

○今年の抱負は？

「自分たちが卒業するまでに全部勝ちたい、優勝したい、という気持ちで立ち上げたので厳しい目標であってもそこは絶対にブラさないでいきたいと思っています。昨年は1勝することができ、北海道ラクロスの構図が崩れて来ているため今年はこのまま一気に上を目指したいです」

○他のサークルにここは負けない！と思うところは？

「サークルでは、先輩後輩の親睦を深めるために親睦りに新を作っています。班ごとにドライブに行ったりとチーム内の仲はとてもいいです。またラクロス界全体では、良い意味で狭いです。北海道ラクロスは学生でほぼ運営しているので大学間の交流が多く、全体でラクロスを盛り上げようという思いがとても強いです」

○最後にメッセージを！

「最後の年なので悔いの残らないように出し切りたいと思います。特に創部時にとてもお世話になった北海道ラクロスの方に今まで作り上げてきたもの、成長した姿を見てもらいたい、感謝の気持ちを表したいということです。後輩たちには僕たちの思いをくみ取り、頑張って欲しいと思っています」

活動について
まだまだ部員募集中です。人数がいないと出来ないスポーツなのでもっとたくさんの方に入部してもらいたいです。活動に興味を持った方は、ouc_lax@yahoo.co.jpまでご連絡ください。

刺激懇談会（シゲコン）開催！

4月11、12日の2日間、『新入生の皆さんに、先輩から商大生活を充実させるためのアドバイスをしよう』という企画、刺激懇談会（シゲコン）が行われました。少人数のグループに分かれ、自己紹介をした後、各サークルから参加した先輩達が学生生活や部活のことなど、色々な話を新入生に伝えていました。楽しい雰囲気で進み、最後にシゲコンを開催した「商大充」代表の吉田匡克さん（社会情報学科2年）が「チャンスがあるなら進んで挑戦してみる積極性とバランスが大切です」と新入生に伝え、終了しました。

「商大充」は2011年度の秋のルーキーズキャンプから、大学生活をより良いものにしたいと思う人たちで創設されたサークルです。7月18日の4～5講には「ゼミ報告＆交流会」を開催していました。これからも、学生会館2階に意見箱を設置するなどの予定があるそう。「もし、商大生活を充実させるために一役買いたいという人がいたらまだまだメンバー募集中なのでメールしてください」。（石崎）

商大充の連絡先はこちら shoudaijuu@gmail.com

編集後記

みなさんこんにちは！節電の夏、冷房弱めの列車の暑さに負けている人も多いのではないでしょうか。

「学園だより」初の試み、壁新聞はいかがでしたでしょうか？普段の学園だよりとは違い、作成に手間取る場面もありましたが、めでたく刊行となりました。

これから不定期で作成していきますのでよろしくお願いします！

『学園だより』編集部一同

編集員のお気に入り⑤

編集員のつぶやき。

第１回

全員2年生の学生編集員4名は今年ゼミ選択を迎えました。無事に皆第一志望ゼミに内定を頂き，少しほっとして原稿を書いていました。しかしゼミ選びは難しいですね。基礎ゼミでは全く悩まなかったのに。私の志望ゼミは志望理由書があったのですが，書く内容の指定がなかった分尚更悩みました。

一年生の皆さん，志望ゼミは最初からしぼらず，しっかり調べてから決めるといいですよ。また面接が苦手な人には朗報です！『学園だより』編集部だと先生や学生に取材する機会が多くあります。私たちも苦手で未だに慣れませんが，その場の雰囲気にのまれず主張を言える力はつきます！是非とも一緒に活動しませんか！！（木南）

テーマ　～飲み物～

私のお気に入りの飲み物はフレーバーティです。特にアップルティーが好きで，紅茶の香りにりんごのさわやかな香りと甘みが加わって，リラックスしたいときにはとてもいいと思います。私も，勉強や読書中によく飲んでいます。皆さんも，飲んでみてはいかがでしょうか。（絹川）

編集後記

新編集部，
2年だけでも負けないぞ！

史上最もあわあわした今回。昨年から編集長になった私ですが，未熟者すぎて迷惑ばかり。商大と大原共催の公務員対策講座もあって，今年はずっと忙しいけれど年賀状出せるかな…

今回ご協力して下さった皆様，ありがとうございました。

☆自学科について（企業法学科）

おいでよ，企業法の森！！

2年　木南　祥子

今年の夏は免許を取りに行きました。免許の写真ってどうしてこう変な顔になってしまうんでしょうね。また，専門学校にも通い始めました。最近なんだか忙しい日々を送っています。もう一回夏休みをやり直したいです。

取材にご協力いただいた皆様，本当にありがとうございました。

☆自学科について（経済学科）

一番身近な経済学に！！

2年　石崎　冴理

新入部員の澤田です。

わからないことだらけでしたが，周囲に助けられてどうにか仕上げることができました。

ご協力いただいたみなさんには感謝してもしきれません。

☆自学科について（社会情報学科）

何を学ぶか迷っている方はぜひぜひ社会情報学科へ。

2年　澤田　菜穂

検定と〆切が重なり，四苦八苦してしまいましたが，何とか発行となり，うれしい限りです。今回は周りより取材が遅かったり，原稿を書くのが遅かったりと反省点も多いので次回は頑張りたいと思います。

取材にご協力いただき本当にありがとうございました。

☆自学科について（商学科）

楽しく学べる商学科！

2年　絹川　真吾

ご協力下さった皆さん，どうもありがとうございました。『学園だより』編集部では，男女学年問わず新メンバーを募集しています。

『学園だより』をお読みになり，私たちの活動に興味を持たれた方は，是非

ouc_gakuendayori@yahoo.co.jp

までご連絡下さい！今号の感想や，ご要望も，お待ちしています。

EDITOR'S ROOM

OTARU UNIVERSITY OF COMMERCE

GAKUEN DAYORI

No.169

学園だより第169号 ●発行／小樽商科大学学務課 〒047-8501 小樽市緑3丁目5番21号 TEL0134-27-5245

リサイクル適性Ⓐ
○この印刷物は，国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）に基づく基本方針の判断の基準を満たす紙を使用しています。
○リサイクル適性の表示　この印刷物はAランクの資材のみを使用しており，印刷用の紙にリサイクルできます。